

## 卷 頭 の 辭

本 間 徳 雄

昨年産業技術聯盟發會式に近衛首相が寄せられたる祝辭の内に我が國が東亞新體制達成の爲めに『精神科學と政教諸學と自然科學とが綜合有機的なる全一體として把握せらるる一體系を確立する』ことの必要を力説されたのは大に吾人の意を得た次第である。

由來日本國家の國策的最高方針の基調を決するに當り生産技術、或は綜合科學を輕視又は無視せる點多々有りしは吾人の眞に遺憾とする處であつた。

今假りに一都市を建設せんとせば綜合科學の粹を集めたる都市計畫の立案を必要とするは既に一般人の常識なり、況や一國家を建設せんとするに當りては何より先きに國家計畫又は國土計畫（何れも假稱）の樹立が第一義的基礎條件であらねばならぬと信するのである、此計畫たるや國民智識の總動員による國家千年の計即國家永遠の羅針盤の創造であらねばならぬのである。此即近衛首相の所謂政教諸學と科學技術の渾然融和の理想境であると信するのである。斯くしてのみ建設は興り生産は増し高速度産業國として世界に登場、萬民協和、治國平天下、聖戰の目的たる八紘一字の新東亞建設の重大使命は達成することを得ん。